

平成23年3月期第2四半期累計 決算概要

小野薬品工業株式会社
代表取締役社長 相良 暁

 小野薬品工業株式会社

売上高 637億円 (前年同期比▲5.1%)

主要製品の販売状況(1)

	22年度上期	21年度上期	増減率
グラクティブ錠	34億円	—	—
イメンドカプセル	20億円	—	—
ステーブラ錠	27億円	21億円	+30.6%
リカルボン錠	9億円	4億円	+105.7%
注射用エラスポール	24億円	26億円	-9.1%
注射用オノアクト	17億円	16億円	+8.6%

※グラクティブ錠、イメンドカプセルは昨年12月に、リカルボン錠は、昨年4月に新発売致しました。

売上高 637億円 (前年同期比▲5.1%)

主要製品の販売状況(2)

	22年度上期	21年度上期	増減率
オパルモン錠	203億円	226億円	-10.0%
オノンカプセル	92億円	122億円	-24.7%
キネダック錠	69億円	85億円	-18.3%
フオイパン錠	56億円	66億円	-15.3%
オンドライシロップ	37億円	41億円	-9.1%

営業利益 130億円 (前年同期比▲ 41.5%)

	(前年同期比)
・売上原価	111億円 (+12.2%)
・販売費及び一般管理費	394億円 (+13.4%)

・研究開発費	235億円 (+25.6%)
・その他の販売費及び一般管理費	159億円 (-0.8%)

経常利益 147億円 (前年同期比 ▲38.7%)

営業外収支

+16億円 (前年同期比 ほぼ横ばい)

営業外収益：19億円

営業外費用：2億円

四半期純利益93億円(前年同期比 ▲41.4%)

特別損益 **1億円の損失**

特別利益： — (前年同期比 2億円減)

特別損失：1億円 (前年同期比 1億円増)

(参考) 前年同期の特別損益(2億円の利益)

平成23年3月期 通期 業績予想

売上高 1,290億円 (前期比▲5.1%)

22年度売上見込と昨年度実績

	22年度予想	21年度実績	増減率
グラクティブ錠	75億円	※(15億円)	—
イメンドカプセル	45億円	※(5億円)	—
リカルボン錠	20億円	9億円	+118.8%
ステーブラ錠	65億円	46億円	+42.5%
注射用エラスポール	55億円	52億円	+6.1%
注射用オノアクト	35億円	31億円	+11.4%
オパルモン錠	425億円	446億円	-4.7%
オノンカプセル	165億円	251億円	-34.3%
キネダック錠	130億円	161億円	-19.2%
フオイパン錠	105億円	127億円	-17.3%
オノンドライシロップ	80億円	91億円	-12.2%

※グラクティブ錠、イメンドカプセルの21年度実績は、4カ月間の実績です

営業利益 267億円 (前期比 ▲33.0%)

		(前期比)
・売上原価	238億円	(+14.2%)
・販売費及び一般管理費	785億円	(+4.2%)
・研究開発費	457億円	(+15.2%)
・その他の販売費及び一般管理費	327億円	(-8.0%)

經常利益 287億円 (前期比▲ 32.8%)

営業外収支 20億円程度 (前期比8億円減)

営業外収益 : 32億円

営業外費用 : 12億円

当期純利益 185億円 (前期比 ▲33.6%)

特別損益 対前期比4億円減

特別利益	過年度研究開発費戻入益など無し
特別損失	投資有価証券評価損は見込まず

(参考)前期の特別損益

特別利益	4億円(過年度研究開発費戻入益など)
特別損失	—